

		EZ-WIN総合評価シート				21.10.23 東京11R 富士S(G2) 3歳上OP 芝1600m 15:45																	
間隔	神の見解	予想印	枠番	馬番	馬名	性齢	負担重量	予想人気	相対指数	トレンド血統	最終調教評価	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	レシビ	総合評価点数
10	△	△	1	1	美)ソングライン	牝3	52	1	A				7,5	7,3	12,13	80	90	70	池添謙	林徹			35
7	◎	★	1	2	美)ザダル	牡5	56	9	A				8,14	9,2	5,4	19	101	17	石橋脩	大竹正	TR	短縮	62
3		▲	2	3	栗)マイラブソディ	牡4	56	12			D		10,2	7,12	3,4	18	73	14	武豊	友道康	R		42
6			2	4	栗)パスラットレオン	牡3	55	8			C+	C+	13,10	1,15	中止	19	101	14	坂井瑠	矢作芳	展		19
10	▲	△	3	5	栗)ロータスランド	牝4	54	3	A		C	▲	2,8	2,9	3,6	100	270	39	田辺裕	辻野			48
3			3	6	栗)ハッピーアワー	牡5	56	17					15,2	17,2	13,11	5	243	3	荻野極	杉山佳			24
5		×	4	7	美)タイムトゥヘヴン	牡3	54	10					8,12	12,9	7,8	23	121	17	柴田善	戸田博		短縮	31
6	△	○	4	8	栗)ラウダシオン	牡4	57	6	A				6,15	4,14	2,8	27	155	13	M. デ	斉藤崇		延長	45
41			5	9	美)ダーリントンホール	牡4	56	11			D		9,17	13,8	15,5	28	121	17	横山武	岩戸孝			35
19	○	◎	5	10	栗)アルジャンナ	牡4	56	7	B	×	D	D	5,15	11,1	7,2	21	101	17	C. ル	池江泰	TR	短縮	55
6			6	11	栗)ボンセルヴィーソ	牡7	56	15			B	D	3,14	2,14	1,16	12	237	3	内田博	池添学	R	TC	25
5			6	12	美)フォルコメン	セ5	56	13	C				1,6	2,7	1,8	6	112	3	大野拓	堀宣行			19
29	△	×	7	13	栗)ソーグリッターリング	牡7	56	14					6,13	7,8	8,8	1	30	3	三浦皇	池江泰			8
29			7	14	栗)ワグネリアン	牡6	57	5		×	D		3,12	9,4	2,14	21	101	17	福永祐	友道康	展		47
17			8	15	栗)サンライズオネスト	牡4	56	16			B		3,3	3,8	2,16	12	237	3	丸山元	河内洋			42
27	△	×	8	16	栗)ダノンザキッド	牡3	54	2					4,15	5,1	4,1	29	82	31	川田将	安田隆	展		51
12	△	△	8	17	美)サトノウィザード	牡5	56	4			C+	C	15,1	15,4	12,1	32	86	31	戸崎圭	宮田敬			52

富士Sは過去10年で、ディープ産駒の牡馬が4勝を挙げています。
今年のメンバーで該当するのは・・・

アルジャンナ(4歳)

ワグネリアン(6歳)

ワグネリアンは年齢と近走成績からは
「深い禁物のディープ産駒」に該当します。
先日、マカヒキの復活に驚かされたばかりですが
前走2桁着順からの巻き返しが非常にレアな
ディープ産駒の特性を考えると、無印になりますな。

本命は10番アルジャンナ

父:ディープインパクト

母父:米国型インリアリティ系

この配合は、直線のトップスピードを

強化する配合で、高速上りの出る

東京コースは最適の舞台でございます。

前走は大きく崩れましたが、距離延長ローテと

休み明け好走直後の反動に加え、

超外差し馬場で、内目の枠からの早仕掛け。

展開も向かず、敗因は明確な1戦でございました。

ちなみに、先々週のG3サウジアラビアRCは
2歳戦でも上り最速が33秒2という高速上り馬場で
アルジャンナの全弟コマンドラインが快勝しております。

★2番ザダルはディーブ系種牡馬トーセンラー産駒。
トーセンラーのG1勝ち星はマイルチャンピオンシップですな。
産駒成績としてはマイル戦は決して褒められた戦績ではありませんが
前走2000mからの距離短縮では複勝率40%で、単勝回収率610%
複勝回収率558%と言う成績を残しております。

○8番ラウダシオンは、距離延長で激走するタイプ。
東京コースを最も得意としており、ゆったりとした
レース間隔で力を発揮するタイプ。

▲3番マイラブソディは、典型的な
ハーツクライ産駒で、距離延長を好み
距離短縮で凡走するタイプですな。
前走は距離短縮の初のマイル戦でも
0秒3差5着に健闘しており、再度のマイル戦で
パフォーマンスを上げて来る可能性がございます。
母父、祖母父共に米国型血統を持つ事で、
2歳戦でも走りましたが、クラシックで通用する程の
完成度は期待しにくいのがハーツクライ産駒で、

古馬になってから完成期を迎える産駒が多く、
2歳戦で重賞を勝った能力の高さがあれば、
完成期を迎えれば、G2クラスでも通用するはず。
このレースに限らず、今後は常に警戒が必要な
存在であると考えております。